

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		固定資産評価審査委員会費				部名	行政委員会事務局	グループ名	選挙・監査グループ		
						課名	行政委員会事務局	担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		8	固定資産評価審査委員会費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 814		地方税法第423条第1項、下野市税条例第77条		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に関する不服審査の申し立てについて、固定資産評価審査委員会を開催し、審査及び決定の事務を行う。									
事業概要		固定資産評価審査委員会の運営に関すること 3名の委員で構成される固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出を受けた場合、直ちに必要と認められる調査、その他審査を行い、その審査結果を審査申出者及び市長に報告する。また、研修会等に参加し知識を高める。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		委員会開催、研修会参加	委員会開催、研修会参加	委員会開催、研修会参加	委員会開催、研修会参加	委員会開催、研修会参加					
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	268	268	261	261	261					
	予算現額	268	256	256							
	決算額	19	26								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	268	256	256	261	261					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	令和6年度評価替えによる不服申し立てに備え、固定資産税課税について知識の習得を図る。									
	B) Aにおける対応策	研修会等に積極的に参加し、他市町の審査事例等を情報収集する。									
	C) 新たな課題等	不服申し立てに備え、固定資産税についての知識習得を図る。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		公平委員会費			部名	行政委員会事務局		グループ名	選挙・監査グループ		
					課名	行政委員会事務局		担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業						目	9	公平委員会費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠外経費 833		地方公務員法第7条第3項、下野市公平委員会設置条例			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		人事行政の公正を期し、職員が安心して職務に専念できる環境の確保に努める。また、的確な公平審査の実施をめざす。									
事業概要		職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分を審査し裁決する。職員団体の登録、職員の苦情処理、ならびにこれについての必要な措置を講ずるために設置された公平委員会の運営と公平委員会委員（3名）及び事務局職員の各種研修会への参加等を行っている。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		市公平委員会実施、全国公平委員会連合会本部研究会出席、県公平委員会連合会総会・研修会出席		市公平委員会実施、全国公平委員会連合会本部研究会出席、県公平委員会連合会総会・研修会出席		市公平委員会実施、全国公平委員会連合会本部研究会出席、全国公平委員会連合会関東支部総会・研究会出席、県公平委員会連合会総会・研修会出席		市公平委員会実施、全国公平委員会連合会本部研究会出席、全国公平委員会連合会関東支部総会・研究会出席、県公平委員会連合会総会・研修会出席		市公平委員会実施、全国公平委員会連合会本部研究会出席、全国公平委員会連合会関東支部総会・研究会出席、県公平委員会連合会総会・研修会出席	
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
事業費	計画額	531		560		612		621		621	
	予算現額	560		491		577					
	決算額	149		126							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	560		491		577		621		621	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	人事評価制度や勤務形態の多様化等による相談、審査事例について研究する必要がある。									
	B) Aにおける対応策	研修会等に参加し、他市町の審理事例等の関連情報の収集を行う。									
	C) 新たな課題等	近年、ハラスメント問題が顕在化していることから、他市町における事例等を研究し、調査・審査に十分な体制を整える必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		行政不服審査会費				部名	行政委員会事務局	グループ名	選挙・監査グループ		
						課名	行政委員会事務局	担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成28年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	総務管理費	事業終了年度	
	主な事業				目		10	行政不服審査会費	関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 10057		行政不服審査法第81条第2項、下野市行政不服審査会条例		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		行政庁の違法又は不当な処分その他公権力の行使に当たる行為に関し、市民が審査請求をした際に、審理員意見書を基に審査庁が諮問した案件について、第三者として行政不服審査会を開催し、審査庁の裁決の判断の妥当性をチェックすることにより、一定の公平性を確保する。									
事業概要		行政不服審査会の運営に関すること。 行政不服審査会の委員の委嘱、事務連絡。審査庁の諮問に応じて、行政不服審査会の開催、審議、答申。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		不服申立てに係る事件ごとに審査会を開催	不服申立てに係る事件ごとに審査会を開催	不服申立てに係る事件ごとに審査会を開催	不服申立てに係る事件ごとに審査会を開催	不服申立てに係る事件ごとに審査会を開催	不服申立てに係る事件ごとに審査会を開催				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	241	241	241	241	241					
	予算現額	241	239	239							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	241	239	239	241	241					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	迅速な答申が行えるよう様々な事例研究・調査を行う。									
	B) Aにおける対応策	事例等関連情報の収集に努める。									
	C) 新たな課題等	迅速な答申が行えるよう体制を確保する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要										
事業名称		選挙管理委員会費			部名	行政委員会事務局	グループ名	選挙・監査グループ		
					課名	行政委員会事務局	担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり			款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進			項	4	選挙費	事業終了年度	
	主な事業					目	1	選挙管理委員会費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠外経費 1447		地方自治法第181条、公職選挙法、下野市選挙管理委員会規程		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I	補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④ (ウ)①						
2. 事業内容										
事業目的		選挙が公明かつ適正に行われることを確保するため、公職選挙法及び関係法令の定めるところにより、4名の委員で構成される選挙管理委員会が行う選挙に関する事務や、関連事務を管理する。								
事業概要		選挙管理委員会の運営に関すること 選挙人名簿の調製 年4回の委員会開催（定時登録6月、9月、12月、3月） 随時開催（選挙執行時等） 各種研修会等への参加								
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		委員会開催、研究会、研修会出席		委員会開催、研究会、研修会出席		委員会開催、研究会、研修会出席		委員会開催、研究会、研修会出席、政治活動用立札及び看板の証票更新		委員会開催、研究会、研修会出席
◎事業費										
(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
事業費	計画額	741		740		740		824		775
	予算現額	740		719		773				
	決算額	604		706						
財源	国県支出金	10		10		1		1		1
	地方債・その他	0		0		0		0		0
	一般財源	730		709		772		823		774
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値										
指標名称								指標の計算式等		
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値										
目標達成率										
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	令和6年度は、栃木県知事選挙が執行される予定である。法令に基づき適正に処理する。								
	B) Aにおける対応策	法令に基づき適正に執行。								
	C) 新たな課題等	選挙の種類や年代によっては投票率が低い。								
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。										
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)								
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)								
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている				
総合評価	継続実施									
5. 2次評価										
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望		
委員会判定					市長判定					
必要性	A				必要性	A				
有効性	A				有効性	A				
効率性	B				効率性	B				
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施				
6. 評価結果 ※市民評価実績										
総合評価	継続実施				-					
備考										

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		選挙啓発費			部名	行政委員会事務局		グループ名	選挙・監査グループ		
					課名	行政委員会事務局		担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	4	選挙費	事業終了年度	
	主な事業						目	2	選挙啓発費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 1467		公職選挙法第6条			
事業の種類	ソフト事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		選挙が公明かつ適正に行われるように、有権者の意識向上に努めるとともに、投票の棄権防止ときれいな選挙の実現を目指す。 下野市明るい選挙推進協議会の協力の下、市民に政治参加を直接呼びかけて選挙の重要性の理解を得て投票率の向上を目指す。									
事業概要		明るい選挙運動の推進 明るい選挙啓発ポスターコンクール 市内小中学校等への選挙用資材の貸し出し(生徒会選挙実施等) 明るい選挙推進協議会の活動推進 若者を対象とした啓発活動 研修会等への参加									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		明るい選挙啓発ポスターコンクール、学校への選挙用資材の貸し出し、若者を対象とした啓蒙啓発活動、研修会等への参加	明るい選挙啓発ポスターコンクール、学校への選挙用資材の貸し出し、若者を対象とした啓蒙啓発活動、研修会等への参加	明るい選挙啓発ポスターコンクール、学校への選挙用資材の貸し出し、若者を対象とした啓蒙啓発活動、研修会等への参加	明るい選挙啓発ポスターコンクール、学校への選挙用資材の貸し出し、若者を対象とした啓蒙啓発活動、研修会等への参加	明るい選挙啓発ポスターコンクール、学校への選挙用資材の貸し出し、若者を対象とした啓蒙啓発活動、研修会等への参加	明るい選挙啓発ポスターコンクール、学校への選挙用資材の貸し出し、若者を対象とした啓蒙啓発活動、研修会等への参加				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	182	176	233	237	237					
	予算現額	176	171	181							
	決算額	148	153								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	176	171	181	237	237					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	若年層の投票率が低い									
	B) Aにおける対応策	若年層への啓発活動 親子連れ投票の推進									
	C) 新たな課題等	若年層の投票率が低い									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				継続実施						
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		参議院議員選挙費				部名	行政委員会事務局		グループ名	選挙・監査グループ	
						課名	行政委員会事務局		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	2	総務費	事業開始年度	令和7年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	4	選挙費	事業終了年度	令和7年度
	主な事業						目	3	参議院議員選挙費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 1574		日本国憲法、公職選挙法、下野市選挙執行規程		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	該当なし							
2. 事業内容											
事業目的		参議院議員通常選挙の適正な執行と管理を行う。									
事業概要		令和7年7月28日任期満了に伴う参議院議員通常選挙の執行事務。 選挙事務関係者の委任・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、期日前投票、不在者投票、当日投票、開票等の事務を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	選挙管理委員会開催、選挙人名簿調製、投開票所の設営、投開票事務				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	0	0	0	29,282	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	28,823	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	459	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	令和7年7月28日任期満了に伴う参議院議員通常選挙を公正かつ適正に執行する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		知事選挙			部名	行政委員会事務局	グループ名	選挙・監査グループ			
					課名	行政委員会事務局	担当者名				
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	新規・継続		継続	
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款			事業開始年度	令和6年度
	施策	1	行財政改革の推進				項			事業終了年度	令和6年度
	主な事業	行政改革の推進			目				関係法令等		
重点事業区分					経費区分	経常枠外経費		日本国憲法、公職選挙法、栃木県選挙等執行規程、下野市選挙執行規程			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	該当なし							
2. 事業内容											
事業目的		栃木県知事選挙の適正な執行と管理を行う。									
事業概要		令和6年12月8日任期満了に伴う栃木県知事選挙の執行事務。選挙事務関係者の委任・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、期日前投票、不在者投票、当日投票、開票等の事務を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
				選挙管理委員会開催、選挙人名簿調製、投開票所の設営、投開票事務							
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	0	0	26,581	0	0					
	予算現額	0	0	24,341							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	21,881	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	2,460	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	令和6年12月8日任期満了に伴う栃木県知事選挙を公正かつ適正に執行する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		監査委員費			部名	行政委員会事務局		グループ名	選挙・監査グループ		
					課名	行政委員会事務局		担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	2	総務費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	6	監査委員費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	監査委員費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠外経費 1651		地方自治法第195条第1項、下野市監査委員に関する条例			
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①						
2. 事業内容											
事業目的		行財政の公正で効率的な運営を確保するため、財務や事業の管理について法令や予算に基づいて適正に行われているか監査を行う。									
事業概要		例月出納検査、定期監査、決算審査、内部統制評価報告書審査、財政援助団体監査等を実施する。また、監査委員の職務を補助し、監査委員が実施する監査等において、事前に関係帳簿・書類・資料等の提供を行い、効率的な業務の推進を図る。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		例月出納検査、定期監査、財政援助団体監査、決算審査の実施 関東都市監査委員会総会、県都市監査委員会総会・定例会出席	例月現金出納検査、定期監査、財政援助団体監査、決算審査の実施 関東都市監査委員会総会、県都市監査委員会総会・定例会出席	例月現金出納検査、定期監査、財政援助団体監査、決算審査、内部統制評価報告書審査の実施 関東都市監査委員会総会、県都市監査委員会総会・定例会出席	例月現金出納検査、定期監査、財政援助団体監査、決算審査、内部統制評価報告書審査の実施 関東都市監査委員会総会、県都市監査委員会総会・定例会出席	例月現金出納検査、定期監査、財政援助団体監査、決算審査、内部統制評価報告書審査の実施 関東都市監査委員会総会、県都市監査委員会総会・定例会出席					
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	1,234	1,231	1,221	1,236	1,236					
	予算現額	1,231	1,228	1,236							
	決算額	1,148	1,130								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,231	1,228	1,236	1,236	1,236					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	引き続き専門的知識の習得、監査技術の向上に努めていく必要がある。									
	B) Aにおける対応策	研修会等に積極的に参加し、専門的知識の向上に努める。									
	C) 新たな課題等	引き続き、リスク・アプローチに基づく監査を進める。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果					※市民評価実績						
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		市議会議員選挙				部名	行政委員会事務局	グループ名	選挙・監査グループ		
						課名	行政委員会事務局	担当者名			
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	新規・継続		継続	
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款		事業開始年度	令和8年度	
	施策	1	行財政改革の推進				項		事業終了年度	令和8年度	
	主な事業						目		関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費		日本国憲法、公職選挙法、下野市選挙執行規程		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	該当なし							
2. 事業内容											
事業目的		市議会議員選挙の適正な執行と管理を行う。									
事業概要		令和8年4月30日任期満了に伴う市議会議員選挙の執行事務。選挙事務関係者の委任・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、期日前投票、不在者投票、当日投票、開票等の事務を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	選挙管理委員会開催、選挙人名簿調製、投開票所の設営、投開票事務				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	49,682	0	0	0	0					
	予算現額	51,081	0	0							
	決算額	31,508	0								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	51,081	0	0	0	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	令和8年4月30日任期満了に伴う市議会議員選挙を公正かつ適正に執行する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		■ 2次評価基準による		■ 市議会・監査等での指摘による		■ 横出し嵩上げによる		■ 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要									
事業名称		市長選挙			部名	行政委員会事務局	グループ名	選挙・監査グループ	
					課名	行政委員会事務局	担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり		予算科目	会計名	新規・継続		新規
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり			款		事業開始年度	令和8年度
	施策	1	行財政改革の推進			項		事業終了年度	令和8年度
	主な事業					目		関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠外経費		日本国憲法、公職選挙法、下野市選挙執行規程	
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I	補助団体				
裁量の有無		裁量なし	総合戦略	該当なし					
2. 事業内容									
事業目的		令和8年8月5日任期満了に伴う市議会議員選挙の執行事務。 選挙事務関係者の委任・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、期日前投票、不在者投票、当日投票、開票等の事務を行う。							
事業概要		令和8年8月5日任期満了に伴う下野市長選挙の執行事務。 選挙事務関係者の委任・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、期日前投票、不在者投票、当日投票、開票等の事務を行う。							
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	選挙管理委員会開催、選挙人名簿調製、投開票所の設営、投開票事務		
◎事業費									
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
事業費	計画額	28,776	0	0	0	0			
	予算現額	25,423	0	0					
	決算額	5,580	0						
財源	国県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債・その他	0	0	0	0	0			
	一般財源	25,423	0	0	0	0			
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値									
指標名称							指標の計算式等		
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】			
実績値									
目標達成率									
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等								
	B) Aにおける対応策								
	C) 新たな課題等	令和8年8月5日任期満了に伴う市長選挙を公正かつ適正に執行する。							
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。									
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)							
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)							
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている			
総合評価	継続実施								
5. 2次評価									
事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input checked="" type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望							
委員会判定					市長判定				
必要性	A				必要性	A			
有効性	A				有効性	A			
効率性	B				効率性	B			
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施			
6. 評価結果 ※市民評価実績									
総合評価	継続実施								
備考									

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		衆議院議員選挙費				部名	行政委員会事務局		グループ名	選挙・監査グループ	
						課名	行政委員会事務局		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名			新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款			事業開始年度	令和7年度
	施策	1	行財政改革の推進				項			事業終了年度	令和7年度
	主な事業				目				関係法令等		
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費		日本国憲法、公職選挙法、下野市選挙執行規程		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量なし	総合戦略	④	(ウ)①							
2. 事業内容											
事業目的		参議院議員通常選挙の適正な執行と管理を行う。									
事業概要		令和7年10月30日任期満了に伴う衆議院議員総選挙の執行事務。選挙事務関係者の委任・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、期日前投票、不在者投票、当日投票、開票等の事務を行う。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	選挙管理委員会開催、選挙人名簿調製、投開票所の設営、投開票事務				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	0	0	0	0	0					
	予算現額	0	0	0							
	決算額	0	0								
財源	国県支出金	0	0	0	30,060	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	-30,060	0					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値											
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等										
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	令和7年10月30日任期満了に伴う衆議院議員総選挙を公正かつ適正に執行する。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	A				有効性	A					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											